

特集

# 橋梁

巻頭言

## 4 既設橋の安全性のレベルについて議論を始めよう

奥井 義昭 埼玉大学大学院 理工学研究科

特別対談

## 5 建設産業の生産性革命と建設機械産業の役割 国土づくり そして人づくり

佐藤のぶあき 参議院議員

平野 耕太郎 (一社) 日本建設機械施工協会副会長, 日立建機㈱代表執行役 執行役社長

行政情報

## 11 道路橋のメンテナンスサイクルにおける AI 技術の活用

石田 雅博 (国研) 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 上席研究員

特集・  
技術報文

## 15 スパンバイスパン架設工法&プレキャストセグメント桁製作 新名神高速道路鈴鹿高架橋他 1 橋 (PC 上部工) 工事

園田 強介 ㈱ピーエス三菱 東京土木支店 土木工事業 作業所長

松下 朗 ㈱ピーエス三菱 東京土木支店 土木工事業

熊谷 善明 ㈱ピーエス三菱 東京土木支店 土木工事業

## 20 橋梁上下部工事での省力化施工 新名神高速道路 武庫川橋

諸橋 明 三井住友建設㈱ 土木本部 本部長

村尾 光則 三井住友建設㈱ 土木本部 部長

## 26 ロアリング工法によるコンクリートアーチ橋の施工

角本 周 オリエンタル白石㈱ 営業本部 事業開発部 事業開発部長

落合 勝 オリエンタル白石㈱ 東京支店 技術部 第一技術チーム チームリーダー

寺崎 政直 オリエンタル白石㈱ 福岡支店 工事業 工事チーム 工事長

## 31 リフトアップバージ大ブロック一括架設

運河の奥へ、忍び込む

川森泰一郎 ㈱IHI インフラシステム 建設部 課長

中村 善彦 ㈱IHI インフラシステム 開発部 部長

## 37 北陸新幹線, 福井高柳高架橋他 押出し架設

小永 浩二 熊谷・日本ピーエス・坂川・轟特定建設工事共同企業体 高柳高架作業所

## 43 橋梁上部工事の CIM 活用と品質向上への取組み

多伎・朝山道路 口田儀第 4 高架橋 PC 上部工事

越智 寿一 ㈱日本ピーエス 中国支店 技術グループ

## 49 低空頭ウォータージェットによる効果的なコンクリート除去 技術 Hydro-Jet RD 工法におけるウォータージェット装置の開発

鈴木 英之 阪神高速道路㈱ 大阪管理局 保全部 保全設計課 課長代理

佐竹 康伸 飛鳥建設㈱ 土木事業本部 リニューアル統括部 担当部長

吉田 啓助 第一カッター興業㈱ ウォータージェット事業部 部長

## 55 狭い幅員の橋梁点検・補修用移動式足場の開発

車両通行を妨げずに作業を可能とするブリッジハンガー

藤田 全彦 西尾レントオール㈱ 技術本部 技術開発部長

野澤 重之 山崎マシーナリー㈱ 取締役営業統括部長

村上 俊明 エスイーリペア㈱ 顧問

## 60 構造物点検のための音波照射加振による遠距離非接触音響探 査法 30 m を超える高さの橋梁床版に対する適用性検討

杉本 恒美 桐蔭横浜大学大学院 工学研究科 教授

歌川 紀之 佐藤工業㈱ 技術研究所 上席研究員

川上 明彦 本州四国連絡高速道路㈱ しまなみ尾道管理センター 橋梁管理役

	66	PC 単純下路桁鉄道橋の架替え工事 京王井の頭線 下北沢駅改良工事	岩元 篤史 大成建設㈱ 東京支店 京王下北沢作業所 所長 山口 卓 大成建設㈱ 関西支店 舞鶴若狭道由良川橋工事作業所 課長 岡田 成徳 大成建設㈱ 東京支店 京王下北沢作業所 課長
	72	レーザ振動計とドローンを用いた鉄道橋検査技術	上半 文昭 (公財) 鉄道総合技術研究所 鉄道力学研究部 部長
	78	鋼橋の塗装塗替長期化に向けた取り組み事例 鋼橋に存在する維持管理困難部位と腐食の要因別損傷傾向	杉田 悠貴 板橋区 土木部 計画課 香川紳一郎 国際航業㈱ 技術サービス本部 社会インフラ部 橋梁マネジメントグループ 担当部長 伊礼 貴幸 国際航業㈱ 技術サービス本部 社会インフラ部 橋梁マネジメントグループ 主任技師
交流のひろば	84	コンクリートチップングマシンの開発	池田 俊明 栗田鑿岩機㈱
ずいそう	87	地方創生に想う 誇りを取り戻す	大田 弘 ㈱熊谷組 社友 顧問 (元 代表取締役会長)
	89	どうなる私のモビリティライフ	古館 利幸 UDトラックス北海道㈱ 代表取締役社長
	90	新工法紹介	機関誌編集委員会
	92	新機種紹介	機関誌編集委員会
統計	95	平成 31 年度 公共事業関係予算	機関誌編集委員会
	100	建設工事受注額・建設機械受注額の推移	機関誌編集委員会
	101	行事一覧 (2019年3月)	
	110	編集後記 (宮川・太田)	

◇表紙写真説明◇

リフトアップバージ大ブロッカー括架設

写真提供：(株) IHI インフラシステム

東京都江東区の東雲運河に架かる木遣り橋。運河上の架設ではリフトアップバージ大ブロッカー括架設工法が採用され、104 m、847 t の大ブロックを大型台船に載せ、下流の既設橋通過後に約 6.4 m リフトアップして架設された。

写真奥は開発が進む有明地区、手前は豊洲。中央の緑地帯は大正時代に作られた旧防波堤。